

# クイック カラー マッチ QUICK COLOR MATCHと

## Epson Proselection / Colorio V-edition

### 写真プリントをもっと楽しく!

簡単操作で色合わせ

### ステップ2 色合わせソフトウェア! Quick Color Matchをダウンロードしよう

モニターを用意し、さあプリント! でも…… ●プリンターはどう設定するの? ●モニターの色はどう調整するの? ●レタッチソフトウェアはどう設定するの? 結局のところ色合わせて難しいんじゃない?

Quick Color Matchは色合わせに必要な設定をすべて自動で行います! 難しい設定はQuick Color Matchが解決!

① モニター画面の設定  
↓  
② レタッチソフト Photoshopの表示設定  
↓  
③ プリンターの設定 → **色が合う**

印刷の基準となる **5000K** の高演色照明のもとで確認

対応機材の詳細、無償ダウンロードは…… EIZO QCM **検索**



### ステップ3 Quick Color Matchで簡単作業

**1** Quick Color Matchを立ち上げます。手順は①プリンターを選ぶ②プリントする用紙を選ぶ③写真データをドロップするの、わずか3ステップです。Photoshopが自動で起動し、モニターがプリントの色味を再現した表示に調整されます。

**2** Quick Color Matchからワンクリックで、プリント補助ソフトウェアEpson Print Layoutを起動。カラー設定はすでに完了しているので、ここではお好みの用紙のサイズ、レイアウトを選ぶだけ。

**3** 写真プリントを5000Kの環境光下で確認します。モニター表示とプリント結果が合っていれば、細かな調整もストレスなく行えます。

今回使用した機材  
【モニター】ColorEdge CS2420  
【プリンター】SC-PX5V7 / EP-10VA  
【照明】Z-80pro-EIZO  
【レタッチソフトウェア】Photoshop CC/CS6  
【プリント補助ソフトウェア】\*Epson Print Layout  
【用紙】写真用紙クリスピー<高光沢> Velvet Fine Art Paper

LED高演色電気スタンド Z-80pro-EIZO

■ 照明にも気を配ろう  
写真プリントは適切な光源のもとで見ることが大切です。色評価の基準となる5000Kの照明環境を整えましょう。部屋の照明を変えられない方には、高演色電気スタンドがおすすめです。

### ステップ1 表示が正確なモニターを用意しよう

おすすめモニターはこちら!  
**ColorEdge CS2420**



- 〈主な特長〉
- Adobe RGB色域99パーセントをカバーし、撮影・現像したデータの色を正しく表示
  - 工場での全階調調整による滑らかな階調表現

画面の色は本当に正しい?

モニターの画面タイプはいろいろありますが、本当に正しい色が表示されていなければ、いくらレタッチしても、プリント結果と色を合わせるのは困難です。まずは、正確な色表示のできるモニターを用意することが大切です。

同じ画像を表示しても色味や明るさは異なります。表示が正確でなければ思い通りの色でプリントできず、刷り直しの手間がかかります。

なぜ ColorEdgeは高品質?

- ① 最適な部品を厳選して調達
- ② 自社工場で一台ずつ個別調整
- ③ 正しい色表現をかなえる表示性能

■ 対応する色域にも注目

色域とはカメラやモニターが再現できる色の領域のこと。代表的な色域にはsRGBとAdobe RGBがあります。デジタル一眼レフやミラーレス一眼の多くは、より広い色域を持つAdobe RGBに対応しています。Adobe RGBで運用される場合は、Adobe RGB色域対応のモニターを選びましょう。

プリントを楽しむためのコツ!



EP-10VA+写真用紙クリスピー<高光沢>  
村田明子さん



SC-PX5VII+写真用紙クリスピー<高光沢>  
三富信一さん



EP-10VA+写真用紙クリスピー<高光沢>  
山崎勝美さん



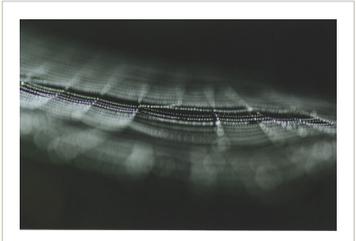
EP-10VA+写真用紙クリスピー<高光沢>  
瀬川典禧さん



SC-PX5VII+写真用紙クリスピー<高光沢>  
渡辺和行さん



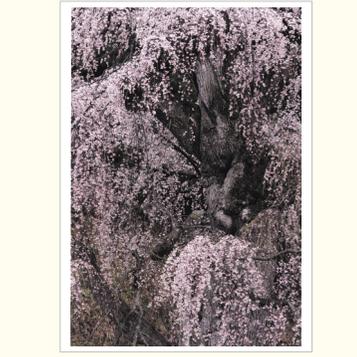
EP-10VA+Velvet Fine Art Paper  
矢田喜代広さん



EP-10VA+Velvet Fine Art Paper  
小島与四郎さん



SC-PX5VII+写真用紙クリスピー<高光沢>  
中島はるおさん



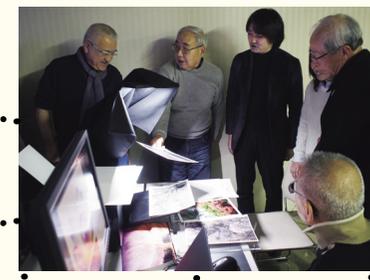
SC-PX5VII+Velvet Fine Art Paper  
坂口晴康さん

参加者の声

●モニター画像とプリント結果がここまで一致するとは! 驚きました。(中野幸賀さん)

●プリント作業はこれまでほとんど勉強してきませんでしたが、その重要性を痛感しました。(山崎勝美さん)

●PX-5500を使っていますが、最新のプリンターの良さを実感。勉強になりました。(矢田喜代広さん)



●用紙の違いはとても勉強になりました。普段の作品づくりでもいろいろな用紙にチャレンジしたいと思います。(村田明子さん)

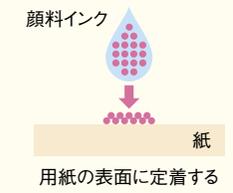
●仲間内でもよく話題に上るモニターとプリントの違いがなぜ起こるのかがよくわかりました。今後の作品づくりに活かしていきたいと思えます。(瀬川典禧さん)

●ノートパソコンとプリントとの色の違いに悩んでいましたが、今回、その理由がわかり、とてもすっきりしました。正しい色を表示してくれるモニターの必要性を感じました。(小島与四郎さん)

まずは顔料と染料の特長を理解しよう

【顔料プリンター】

- 幅広い用紙に対応
- 色が安定するまでの時間が早い
- 環境光による影響が少ない
- 耐久性・長期保存に優れる



【おすすめモデル】  
Epson Proselection  
SC-PX5VII

- 〈主な特長〉
- Epson UltraChrome K3インク搭載でモノクロもカラーも鮮やかにプリント
  - データに忠実な色再現が可能
  - ファインアート紙など多彩な用紙に対応
  - 四切・A3ノビ対応の8色顔料モデル

- 〈こんな人におすすめ〉
- 細かなディテールまで表現したい
  - さまざまな用紙でプリントしたい

【染料プリンター】

- 光沢感を得やすい
- 色が安定するまでに時間がかかる
- クリアーで鮮やかな発色
- 水濡れに弱い



【おすすめモデル】  
Colorio V-edition  
EP-10VA

- 〈主な特長〉
- Epson ClearChrome K2インク搭載で広い色域表現が可能
  - 作品印刷機能搭載でパソコンなしで作品づくりができる
  - インクコストが安い
  - A3対応の6色染料モデル

- 〈こんな人におすすめ〉
- 光沢紙を使うことが多い
  - 鮮やかな発色がほしい

■メンテナンスは定期的に……ノズルの目詰まりやギャップの調整ずれば、プリントにスジが入ってしまうだけでなく、正しい色にプリントされないこともあります。こまめにチェックしましょう。

用紙の違いによる仕上がりの違いを意識しよう



【写真光沢紙】

- 黒の締まりが良い
- 色が鮮やかに仕上がる

【代表的な用紙】写真用紙クリスピー<高光沢>高い光沢感と自然な白が特長。深みのある色や鮮やかな色の表現に優れている。透明感のある作品にもおすすめ。



SC-PX5VII  
+  
写真用紙クリスピー<高光沢>  
佐々木秀久さん

■フチによる見え方の違い  
【フチなし】広がりを感じさせる。ただし、用紙の比率と画像の比率が違う場合はトリミングされる。  
【黒フチ】引き締まって見える。  
【白フチ】作品に集中させる。自然な雰囲気仕上がり。フチは1インチ(2.54センチ)を目安に調整しよう。



【マット・ファインアート紙】

- 落ち着いた印象
- 光の映り込みが目立ちにくい

【代表的な用紙】Velvet Fine Art Paper厚みがあり高級感のあるファインアート紙。表面に凹凸の質感が施され、立体的な表現が可能。長期保存にも適し、写真展にもおすすめ。



SC-PX5VII  
+  
Velvet  
Fine Art Paper  
相田廣美さん

■ここがポイント!  
同じ写真でも用紙によって仕上がりイメージは大きく異なります。どのような作品にしたいのかによって用紙を選ぶことが大切です。

エプソンでは  
多彩な純正用紙を  
ラインアップ!  
六切や四切サイズも!



写真用紙  
クリスピー  
<高光沢>



写真用紙  
絹目調



UltraSmooth  
Fine Art  
Paper



フォトマット紙